



ロボットの持つ純粋な楽しさを ビジネスとして社会に 広げていきたい

人力だけで通常の人体では表現できないダイナミックな動きを実現する動作拡大型スーツ「スケルトニクス」の開発をけん引するのが白久レイエス樹氏だ。高さ約2.5メートルのスケルトニクスは、ハウステンボスのパレードに導入されるなど様々なイベントに登場し、テレビCMのモデルにも採用され、2013年度のグッドデザイン賞も受賞した。多くのロボットベンチャーが注目される中で、世界中から高い関心が寄せられている。

高専ロボコンのメンバーたちとスケルトニクスの開発に着手

白久氏とロボットの付き合いは中学時代から始まる。中学ロボコンに参加した後、沖縄工業高専に進学して、毎年高専ロボコンに参加。最終学年の2008年には全国優勝を果たす。高専の専攻科で海中ロボットを研究し、卒業後は東京大学大学院でロボット研究を続けてきた。

一方、高専の専攻科のときに、チームスケルトニクスを結成。「ロボコンが終わった後、一緒にロボコンをやってきた阿嘉氏と話していて思いついたのが、巨大ロボットの開発だった」と白久氏。お金も時間もかかるモーターを使わずに、人力とリンク機構を採用して開発に取り組んできた。

人力の可能性を極める意義を未踏で改めて実感できた

白久氏が未踏に応募した時には、スケルトニクスはすでに第4世代に入っていた。当初は、トランク型パワードスーツの開発を目指したが、プロジェクトマネージャーたちからの勧めで人力の可能性を追求することに方向を転換。「未踏のプロジェクトですごい発見がたくさんあった」と白久氏は語る。独自に開発したプログラムによって体力的に5分が限界だった操作時間は1時間以上に伸びた。

また、未踏期間中に会社を設立。「作って売るといった単純なビジネスは先行き辛くなる。もっと頭をひねって発想しなさい」という未踏のOBからのアドバイスを胸に夢を追いかけている。



白久 レイエス 樹 氏

Reyes Tatsuru Shiroku

スケルトニクス株式会社 代表取締役
2013年度 未踏スーパークリエイター

沖縄工業高等専門学校 専攻科 機械システム工学コースから、2012年東京大学大学院 新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻へ進む。2013年度未踏IT人材発掘・育成事業に採択、同年スーパークリエイターに認定される。人力だけでダイナミックな動きを実現する動作拡大型スーツ「スケルトニクス」で、2013年度グッドデザイン賞を受賞するなど、多方面からの注目を集める。2013年10月にスケルトニクス株式会社を設立。